

拡大するSYP

ウッドショックで脚光

①

SYPの特徴は強度、耐久性、釘の保持力、薬剤浸潤性の高さで、米国では構造用製材、デッキ、外構材、フローリング、造作、建具材、梱包材、パレット材など多様な用途で利用されている。特に薬剤浸潤性については、通常必要なインサイジングなしで米国木材保存処理協会の基準に適合する水準まで薬剤を浸透させられることから、加圧保存処理材の85%はSYPが使われているという。日本では国内5カ所の遊園地で、木製ジェットコースターの構造材に利用された実績がある。

日本向けの供給量 2立方尺。ただ、近年は、毎年1000〜1はインターフォアが輸万立方尺(米出国荷) 出に力を入れており、(ス)の範囲で推移し、これまでに畜舎などの20年は175 トラス、集成土台向け

強度、耐久性など多様な特徴

2×4材、在来タルキなどで引き合い

ラミナとして採用され、たほか、木材不足の現在、2×4構造用製材、在来工法向けタルキとしても引き合いが増えているという。

SFPAでは「米国の南部の製材生産能力の拡大に加え、パナマ運河の拡張によって日本への輸送が改善され、日本へ輸出する利便性がより高まった」と話

す。米国大使館アメリカ農産物貿易事務所(A TO=Agricultural Trade Office)のチャ

ンダ・パーク所長は、日本市場へのSYPの期待について本紙に対して次のようなコメントを寄せた。ATO

は、東京の在日米国大使館及び駐大阪・神戸米国総領事館内の2カ所に事務所を持ち、米国の農林水産品の輸出拡大と販売促進を目的

に、米国の輸出企業及び貿易振興団体と協力して様々な活動を展開している。

米国は様々な天然資源に恵まれ、そのうち

は、東京の在日米国大使館及び駐大阪・神戸米国総領事館内の2カ所に事務所を持ち、米国の農林水産品の輸出拡大と販売促進を目的に、米国の輸出企業及び貿易振興団体と協力して様々な活動を展開している。



チャンダ・パークATO所長

マスパーランド(三重県桑名市)のホワイトサイクロンなどの木製ジェットコースターに使われた実績がある。近年はアジアの新市場を中心に、デッキやボードウォークなどでの利用が増えている。土

は、これまでSYPはマイナーな樹種だったが、米松や松など強

度で伍する樹種として、屋根トラスやタルキ、横架材など、強度が必要とされる部位を

中心に積極的に取り入れていた。安定供給の面でも心配のないSYPの製材をぜひ使っていただきたい。(おわり)